

ASUKA IN BLOOM

Eaves-end Tiles with
Floral Motifs

屋根を彩る草花

飛鳥の軒瓦とその文様



スイカズラ (忍冬)

2021 10.15 FRI - 12.19 SUN

月曜日休館、11月3日(水・祝)は無料入館日 主催 | 独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館 後援 | 文化庁、近畿日本鉄道株式会社
開館時間 | 午前9時から午後4時30分(入館は午後4時まで) 入館料 | 一般350円、大学生200円、高校生及び18才未満・70歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料

奈良文化財研究所

飛鳥資料館

飛鳥の軒瓦とその文様

屋根を彩る草花

ASUKA IN BLOOM

Eaves-end Tiles with Floral Motifs

飛鳥は日本で最初に本格的な寺院がつくられた地として有名です。飛鳥には7世紀を通じて数多くの寺院が建立されました。また、その屋根には本格的に瓦が葺かれるようになります。

瓦葺きの建物は、造営に高度な技術が必要とされ、そしてなにより、それまでの建物と比べて見た目も大きく変化しました。したがって、この時代には、瓦葺きの屋根を持つ寺院は権威や先進文化の象徴でもありました。

その瓦屋根の軒先には導入の初期から様々な草花の文様があしらわれ、特別な世界観をあらわしています。

今回の展覧会では、飛鳥地域で使われた古代の軒瓦文様に焦点を当てます。軒瓦文様のモチーフは東アジアやそのさらに西の地域にルーツがあります。代表的なものにハスの花（蓮華）や唐草の文様がありますが、同じ文様でも、拡散し、普及する過程で様々なバリエーションが生み出されました。

日本にもたらされた軒瓦文様の変化と、飛鳥を中心としたその後の展開をご覧ください。



1



2



3



4



5



6

- 1 藤原宮 変形忍冬唐草文軒平瓦
- 2 坂田寺 素弁蓮華文軒丸瓦
- 3 川原寺 複弁蓮華文軒丸瓦
- 4 山田寺 単弁蓮華文軒丸瓦
- 5 坂田寺 手彫り(忍冬)唐草文軒平瓦
- 6 地光寺 葡萄唐草文軒平瓦

交通
近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から明日香周遊バス(赤かめ)で「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車、または近鉄・JR桜井駅から奈良交通(36系統)明日香奥山・飛鳥資料館西行)バスで「飛鳥資料館」下車

駐車場
無料 普通車11台分(近くに有料駐車場あり)



奈良文化財研究所 **飛鳥資料館**
奈良県高市郡明日香村奥山601
Tel. 0744-54-3561
www.nabunken.go.jp/asuka/

